

いまよの風の

平成29年3月24日発行

学校通信 第31号

北海道今金高等養護学校

〒049-4304

瀬棚郡今金町字今金 454-1

TEL 0137-82-3121 FAX 0137-82-3092



輝く未来をこの子らの手に

北海道今金高等養護学校長 高 嶋 利次郎

3月3日（金）に外崎秀人町長様、村瀬 廣今金町議会議長様をはじめ多数の御来賓の御臨席の下に第18回卒業証書授与式が盛大に挙行され、産業科8名、農業科8名、生活家庭科7名、計23名の卒業生が、思い出深い学舎を巣立っていきました。

今年の第18期卒業生は、私が本校に着任したときの新生入生でしたので、新生入生の頃の様子が思い起こされ、自然と映画を見るように、「あんなことがあった。」「こんなこともあった。」と思い出されます。

卒業証書授与式を迎えるまでに、生徒達は青春の葛藤を抱えて迷い悩んだ時期を迎えたり、見学旅行が帰りの航空機の関係でさらに1泊延びるなど、これまでの学年にないような出来事に遭遇したりしました。生徒達は突発的な出来事にも普段どおりの対応ができていたことが思い出されます。どれもかけがえのない3年間の大切な思い出になっていることと思います。

「第18期生はこの3年間でどれほど成長したことか・・・。」

最後の通知表を読み、改めて生徒一人一人の大きな成長をかみしめました。

これも、御家庭、関係機関の皆様をはじめ、今金町の皆様の温かな御支援と御協力の賜であります。今金町の皆様から町民の一人として、温かく受け入れていただき、声をかけていただいたり、現場実習でお世話になったりするなど、我が子のように可愛がっていただいたり、御指導いただいたりしたことにより、生徒達は成長し社会人として巣立っていくことができました。心より感謝申し上げます。

そして、3月24日（金）には修了式を挙行しました。1年生32名（4間口）、2年生22名（3間口）は、無事に1年間の学びを締めくくることができました。1年生にとっては、初めての高校生活、初めての学習、初めての現場実習、そして、初めて出会う仲間との寄宿舎生活と初物づくしの毎日でした。これまでの生活では経験したことのない寄宿舎生活は、さぞかし慣れるまでに時間がかかったことでしょう。

2年生にとっては、後輩を迎えて先輩としてのお手本を示す立場になり、一つ一つの課題にチャレンジしながら課題をクリアして、先輩らしい姿を示すことができました。卒業後の就労も現実的なものになり、より自分自身を見つめ直し、将来の進路を見定めるようになりました。

この1年間は1・2年生にとっても、これまでにない大きな成長を見せてくれた年でした。

平成28年度の終わりに当たり、今年度の学校を振り返ってみますと、創立20周年記念事業を御家庭、関係機関の皆様をはじめ、今金町の皆様の御理解と御協力の下、盛大かつ充実した内容で実施することができました。そして、今金町、今金町商工会、JA 今金町、社会福祉法人光の里と本校が連携した就労支援と自立支援の取組は着々と進み、本校に対する

道南圏の中学校の保護者・生徒の評価は大きく変わりつつあります。そのことが、平成29年度入学者選考検査の最終倍率が道内トップの1.5倍という結果につながりました。開校以来、最高の入選倍率です。

また、お陰をもちまして、今年度の檜山管内教育実践表彰を職員、生徒が受賞することになりました。心より厚く御礼申し上げます。

地元就職については、今年度の卒業生は、今金町就労支援事業による1名のほか、「にぎわい！今金」コミュニティビジネス創出による地域力再生プロジェクトに関わって、4名が町内で一般就労し、2名が福祉的就労をすることになりました。地域のお仲間に加えていただき、引き続き、卒業生に御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

今金高等養護学校の生徒の教育と就労に関わる様々な課題について、地域の皆様が町の課題として取り組んでくださることに、心より感謝申し上げますとともに、とても心強く思っております。

来年度は、さらに今金町の学校としての取組を加速させ、「輝く未来をこの子らの手に」を合い言葉に、教育活動の一層の充実を図るとともに、地域との協働・地域貢献を推進して参ります。来年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今金町教育・文化・スポーツ表彰

3月2日（木）に今年度の今金町教育・文化・スポーツ表彰の表彰式が行われました。今回は北海道障がい者冬季スポーツ大会が今金開催ということもあり、陸上、クロスカントリーの全国大会に出場した2名の生徒を含め、合計18名がスポーツ賞、スポーツ奨励賞を受賞することができました。学校全体でいろいろな大会に参加し、そこで結果を残せることに自信と誇りをもって、今後も結果を残してもらいたいと思っています。受賞者の皆さん本当におめでとうございます！！

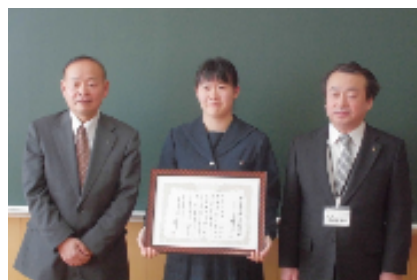


檜山管内教育実践表彰

3月15日（水）に北海道檜山教育局長毛利 薫様が来校され、表彰伝達式が本校で行われました。学校教育表彰で本校教諭が、特別賞では本校農業科の生徒が受賞しました。

この表彰は、優れた実践活動により、檜山管内における学校教育又は社会教育の振興に特に功績のあるものを表彰するというものです。特別賞は、全国・全道規模の文化発表・スポーツ大会等で優秀な成績をおさめた生徒に与えられる賞です。

今回の受賞は、本校の障がい者スポーツに対する取組と、その活動の中で意欲的に取り組んでいる生徒の活動が評価されたことによります。今後もより一層、生徒が主体的になれるように取り組んでいきます。



第18回卒業証書授与式

3月3日（金）に第18回卒業証書授与式を挙行了しました。産業科8名、農業科8名、生活家庭科7名の23名の卒業生が、高嶋利次郎学校長から一人一人卒業証書を受け取りました。涙を流す場面もありましたが、在校生は卒業生へ感謝や祝福の気持ちを伝え、卒業生は3年間の学校生活を振り返ることができました。4月からは社会人の仲間入りをします。ぜひ、在校生と同様に本校の卒業生を応援していただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



美利河寮 ～送別会～

3月1日（水）に美利河寮（寄宿舍）の送別会を行いました。送別会では3年生が3年間の思い出を振り返った挨拶をし、合唱でゆずの「友～旅立ちの時～」を見事に歌い上げ、とても感動的な雰囲気となりました。スライド上映では3年生の入学当時の写真が流れ、自分の変化に驚く生徒もいましたが、それも良い思い出だと笑顔で見えていました。

卒業生の19名のみなさん、寄宿舍で学んだことを生かし、健康に気をつけてがんばってください。卒業おめでとうございます！



後期生徒総会

2月22日（水）に後期生徒総会がありました。今回の生徒総会では、生徒会執行部や各委員会、各部活動から年間活動報告と活動予算の決算報告をしました。また、各クラスの代表者から、委員会や部活動への質疑もあり、より良い学校にしていくための充実した総会となりました。改善できるところは、各クラスの質疑を参考に生徒同士で考えながら今後の活動に生かしていきます。3月には3年生が卒業し、4月からは新入生を迎えます。これから活発な生徒の活動が増えることを期待しています。



2 学年販売実習

3月16日（木）に2学年の販売実習を今金町役場と総合体育館の2ヵ所で行いました。生徒達は、働く力を高めるため、そして、買ってくださるお客様のことを考え、これまで一生懸命製品作りに取り組んできました。当日は天候にも恵まれ、両会場ともたくさんの町民の皆様にご来場していただき、ありがとうございました。販売会を終え、やりがいを感じることができた生徒や、もっとできたことはないか反省している生徒など、それぞれが充実した表情で振り返ることができました。生徒にとって良い学びとなりましたが、購入していただいた製品がお客様にも満足していただけると幸いです。次回は、5月に3年農業科の草花の販売をAコープ前にて予定しております。どうぞお越しください。



子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。



●電話相談

☎ 0120-3882-56

（無料、毎日24時間対応）

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください

センターWebページ



●来所相談

（10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。）

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

※上記の電話相談で予約してください。

※ センターのWebページに、「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。次のURLからご覧ください。

URL <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>

4月の行事予定

次回の発行は4月下旬予定です♪

日 時	予 定
3日（月）～7日（金）	学年始休業日
10日（月）	始業式、着任式
11日（火）	入学式
13日（木）	身体測定
17日（月）	対面式
18日（火）	避難訓練
19日（水）	1 学年X線・心電図検査
24日（月）	全校集会
28日（金）	参観日、全校レク、PTA振興会総会